

た。此の両社の合併は逆転式冷間連続圧延機の新設計画にからむ設備の二重投資を避けようとするものであり、島尾町の新鋭工場の完成を明年4月に予定している。

### 淀川製鋼の高級仕上厚板設備完成

淀川製鋼では、かねて建設工事を進めていた呉工場の高級仕上鋼板生産設備を概ね完成、来年早々には試運転の運びとなった。同生産設備は米国プリズ社からのレバ・シグ・ミル輸入を主体とし資金的 15 億円を要したもので、年間生産能力は高級仕上鋼板 5 万 t で、大体 3 月頃には本格的稼働に入るものと見られている。

### 住友金属の粉末冶金生産

住友金属工業では、明年2月か遅くも3月頃から粉末

冶金の本格的操業を始めることを計画し、年内に米国から到着するはずのプレス、焼結爐を据付けるため同社吹田工場に基礎工事をすることになった。これは同社吹田工場で生産するSK磁石の品質向上を図るためかねて研究されていたもので、年内に米国ストーク社からプレスを、又米国リンドパーク社から焼結爐を輸入し、吹田工場に据付けるが、これと併行しすでに技術修得のため西ドイツへ技術者が派遣されている。

この粉末冶金（パウダー・メタラジー）はフェロアロイに代るもので、焼結熔融作業が簡単なことをはじめ、生産が比較的容易なところから、従来のフェロアロイに比べコストが低廉になり、且つ優良な冶金が得られるという利点があるとされている。

(1391 頁よりつゞく)

### 第 16 回鐵鋼要覽改編委員會

日時：昭和 28 年 12 月 3 日、16:30~19:00、会場：協会々議室。出席者：(委員長) 田中清治、(編集委員) 芥川武、岡本正三、志村清次郎、内山道良、長谷川正義、浜本甲子生、荒井 登、山木正義、佐藤忠雄、三橋鉄太郎、安田洋一、(臨時出席) 丸善：五十嵐君、森君。(協会事務局長) 橋本芳雄。

報告事項 1. 鉄鋼要覽を鉄鋼便覽と名称変更の件—10 月 14 日の理事会に於いて承認。2. 原稿完成、丸善に引渡済、整理校正中。3. 明年 4 月完成発刊の予定。

協議事項 1. 資料編設定の件(丸善提案) 本書の読者が購入の手引となる各社製品の機器、材料等を巻末に資料編として掲載し、収入は挙げて本書の定価引下げに投じて読者の負担軽減を計り以て本書の普及に努めたい—承認。

2. 索引作成上に関する件(丸善提案)。決定—原案通り。

## 日 本 鐵 鋼 協 會 記 事

**昭和 28 年度第 10 回理事會** 日時：28—12—9(水) 16:30~18:30 会場：協会会議室。出席者：(副会長) 小林佐三郎，(理事) 内川 悟，佐藤忠雄，横山均次，(前会長) 三島徳七，山岡 武，(監事) 石田四郎，(常務委員) 伊木常世，岡本正三，(事務局長) 橋本芳雄。

### 報告事項

〔I〕 第 9 回編集委員會の件 (別掲)

〔II〕 第 16 回鐵鋼要覽改編委員會の件 (別掲)

〔III〕 文部省科學費分配要員推薦協議の件 各地候補者 (関東地区) 小川芳樹君，岡本正三君。(北海道地区) 幸田成康君，平社政之助君。(東北地区) 小野建三君，大日方一司君。(中部地区) 関口春次郎君，佐野幸吉君。(近畿地区) 斎藤省三君，沢村 宏君。(中国地区) 小柴定雄君，山村 博君。(九州地区) 谷村 熙君，嘉村平八君  
中央委員候補者 小川芳樹君，岡本正三君，大日向一司君，斎藤省三君。

〔IV〕 東京地方講演會の件 11 月 27 日東京大学工学部に於いて一講師：三島徳七君，橋本宇一君。

〔V〕 金屬學會東京支部との連合理事懇親會の件

〔VI〕 工業技術院長より委託の兩委員會の件

(1) 鋼の焼入性試験方法標準原案作成委員会：交付金—44,350 円。委員—(主査) 三橋鉄太郎君，山本信公君，高橋孝吉君，下田秀夫君，出口喜勇爾君，玉置正一君，山中直道君，河合正吉君，芥川 武君，長谷川正義君，小柴定雄君，菊池浩介君，本山盛太郎君，今井勇之進君，大和久重雄君。

(2) 鋼の結晶粒度判定方法標準原案作成委員会：交付金—40,450 円。委員—(主査) 芥川 武君，堀川映二君，遠藤勝次郎君，河井泰治君，山本信公君，高尾善一郎君，下田秀夫君，山中直道君，河井正吉君，菊池浩介君，佐藤忠雄君，浅田千秋君，玉置正一君，前田元三君，三橋鉄太郎君。

協議事項 (I) 第 47 回講演大会及び第 39 回通常総会実施方の件，原案の通り決定。

案：通常総会，講演大会 4 月 3 日(土)，4 日(日) 見学 4 月 5 日(月)，6 日(火)

(II) 講演大会，見学，通常総会の事務及び施設上改善を要する件，継続審議のこと。(III) 来年度改選の役員候補者推薦方の件，決定。(IV) 第 39 回通常総会に於ける表彰者推薦方の件，決定。(V) 年末より来春総会に至るまでの行事予定案の件，原案通り決定。(VI) 工業標準化専門委員会数値委員推薦の件 (事後) 横山均次君推薦承認。(VII) 入退会者及び会員異動の件，承認。(VIII) 昭和 28 年 11 月収入決算の件，承認。(IX) 事務局員に年末手当支給の件，承認。(X) 事務局員採用の件，田鍋力採用承認。

**昭和 28 年度第 9 回編集委員會** 日時：昭和 28 年 11 月 24 日(火) 16:30~19:00。会場：協会々議室。出席者：(理事) 菊池浩介，横山均次。(常務委員) 岡本正三。(編集委員) 内山道良，沢 繁樹，浜本甲子生，松下幸雄，三橋鉄太郎，辻畑敬治(代理) 深川彌三郎，安田洋一，山木正義，吉田道一，(協会事務局長) 橋本芳雄。(編集主任) 三宅連秀。

報告事項 1. 昭和 28 年 10 月号は 11 月 14 日完成発送済み。" 11 月号は 12 月 5 日完成の予定。3. " 12 月号は 12 月末迄に完成の予定。4. 技術資料入手状況 (最近のもの)。 (1) 最近に於ける熔鋸炉作業の進歩 (和田亀吉)。 (2) 鋼板鋼管の厚み測定法 (丹羽 登)。 (3) 超音波探傷法について (河井泰治，田坂鋼二)。 5. 英文鉄と鋼アブストラクト第 2 号の原稿は附録を除き印刷所に交付済，完成予定 29 年 2 月末。

協議事項 1. 昭和 29 年春季講演大会見学工場選定の件一，一応審議，次回選定のこと。 2. 日本燃焼懇話委員会より依頼の第 5 回燃焼国際会議における論文募集掲載の件一掲載のことに決定。 3. 国内諸刊行物重要目次選定の件—29 年 1 月号より毎号最近のものを選定掲載のことに決定。 4. 第 3 回品質管理大会講演の内より原稿依頼の件—次回に決定のこと。 5. 29 年 1 月号原稿選定の件—選定。 6. 巻頭言の件—桂井三氏差支の為，川上義弘氏又は山岡武氏に依頼のこと。(以下 1390 頁へつゞく)